



令和2年12月定例会終わる

高校生との意見交換会……………	3
こんなことが決まりました……………	4
委員会審査……………	6
市政を問う 13人が一般質問に立つ ……	8
議会のうごき……………	15
傍聴者に聞いた……………	16

三次市議会のホームページもご覧ください。

三次市ホームページ

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

▶ 市議会のページ

※三次市議会のページへアクセスします。
(携帯サイトではありません)



日彰館高等学校

11月16日(月)

3年生のみなさんと「議会を身近に感じてもらう」ことを目的に、自分も政治に参加できると実感してもらえよう、政治・政策から幅広く意見交換を行いました。



広報委員が出席議員の感想を聞きました



中原委員

- 生徒も事前に議会や市政についてそれぞれの視点でよく調査してくれていたと思います。
- 選挙に行くことが重要と最後に感想を言ってくれたので、今後もその思いを続けていただきたいと思います。

まとめ

選挙権のある18歳ということで、非常に政治・政策に関心のある質問が飛び交いました。さすが3年生です。すでに選挙に行った生徒もいたようですが、引き続き、政治・政策に関心をもってしっかり勉強していきましょう。

生徒の感想



▶議員の話はどうでしたか？

- 選挙には行ったことがあり、少し政治に興味を持っていたからよく理解できました。
- 自分達の目線で話してもらえ、詳しく教えてもらったので分かりやすかった。

▶これから議会や議員に期待することはありますか？

- 今回出た意見を参考にしてほしい。
- 三次市を今まで以上に活発にしていきたいです。
- 地域住民の声を聞いて、できる事であれば叶えてほしいです。その声に応えられない場合は、説明してほしいと思います。

▶全体の感想を教えてください

- 次の選挙には参加したいと思いました。改めて、選挙権の重要性を認知することができました。
- 議員さんと直接話をする機会はめったにないので、良い時間・有意義な時間になりました。
- 貴重な時間をありがとうございました。議員の方と直接意見交流ができ、思いもしっかりと伝わったので、これから選挙に関心を持ち、積極的に参加していきたいです。



三次青陵高等学校

1月21日(木)

放課後を利用して、生徒会執行部8人と広報広聴常任委員8人で「どうしたら三次がよくなるか、高校生としての提案」をテーマに幅広く意見交換を行いました。

生徒の感想



▶議員の話はどうでしたか？

- 質問したことに対するの答えと、さらに付け加えてくださったので分かりやすかったです。

▶これから議会や議員に期待することはありますか？

- 三次をもっとよりよくしてもらいたい。
- 「人」の温かさを守ってほしいと思う。

▶全体の感想を教えてください

- 自分の知らないことや様々な視点について知ることができて良かった。
- なかなかない機会なので参加できてうれしかったです。

- 生徒たちの素朴な質問に、改めて議員としての思いを考えるきっかけを頂きました。
- 話をしたことにより、高校生が次の疑問へ進めたら良いと思いました。

広報委員が出席議員の感想を聞きました



山田委員

まとめ

少人数だったので1人ずつ話を聞くことで、高校生なりに地域のことや自分達の周りのことを一生懸命考えていると分かり、力強さを感じました。少しでも地域のことを考えるきっかけになるといいと思います。



高校生との意見交換会

市議会では、三次市議会基本条例第7条の規定に基づき、議会報告・懇談会を実施しています。今年度は感染症拡大防止のため、対策について協議した上で議会懇談会の「出張型」のみ実施しています。今回、高校生の政治的教養(主権者教育)授業の一環として、意見交換会を開催しました。

ご対応いただいた先生、生徒のみなさん、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の影響で授業日数も少なく大変な中、学校にはご対応いただきありがとうございました。高校生と意見を交換することは、新しい発見が多く、非常に参考になります。生徒のみなさんには、引き続き政治に、議会に関心を持っていただき、我々は高校生から出た意見を少しでも参考にし、また実現できるよう今後の議員活動に活かしていきたいと思います。

三次高等学校

11月9日(月)

1年生と意見交換を行いました。準備として、生徒がアンケート分析結果を中学1年生に向けて発表する「三高ゼミ」で議員が講評を行いました。それを踏まえて各発表グループに分かれてグループトークを行いました。



広報委員が出席議員の感想を聞きました



徳岡委員

- 高校生が三次市についてどう思っているのか、意見交換する中でよくわかりました。生徒たちの視点から三次市がどう映っているのかわかり、参考になりました。
- 高校生も意欲的に質問や意見を出してくれて、とても充実した時間になりました。

まとめ

高校1年生ということもあり、まだ政治に実感もなくとても緊張したと思います。しかし、これから主権者として多くの知識を得て、今日の事を思い出しながら18歳になった時にはぜひ選挙に参加してください。

生徒の感想



▶ 議員の話はどうでしたか？

- 私達にもわかるように説明してくれたので分かりやすかったです。
- たくさん話を聞かせてくださって、若者の意見を大切にされていると思いました。

▶ これから議会や議員に期待することはありますか？

- 三次のために頑張ってください。
- 少しずつでもいいのもっと新しいことに目を向けてほしいです。
- この交流会で出た意見を実現させてほしいです。

▶ 全体の感想を教えてください

- 市議会の方々も私達も一緒になって「三高」の知名度をあげていかないといけないと思いました！私も頑張ります！
- 若い人が政治に関心を持って、積極的に政治参加することで三次を変えることができると思ったので、三次の議員さんとの交流が増えれば良いと思いました。
- 自分たちが質問したことに対して真剣に答えてくださって、市をよくしたいという気持ちが伝わってきました。



こんなことが決まりました

臨時会 結果報告

令和2年 第3回臨時会

第3回臨時会の本会議を11月30日(月)に開催し、次のことが決まりました。

議案 条例の一部改正

●職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

議案の詳しい内容についてはこちら→



全員一致

令和3年 第1回臨時会

第1回臨時会の本会議を1月20日(水)に開催し、次のことが決まりました。

令和2年度 一般会計予算の補正(第10号)

補正額 6,000万円追加

総額 466億8,574万2千円

■主な使い道

- ◆飲食事業者支援給付金 5,000万円
- ◆中小企業者金融支援補助金 1,000万円
(◆印は新型コロナウイルス感染症対応分)

補正予算の概要はこちら 1月補正予算をご覧ください。

議案の詳しい内容についてはこちら→



令和2年 12月定例会

- 条例の一部改正
 - 行政組織条例の一部を改正する条例 全員一致
 - 国民健康保険税条例の一部を改正する条例 全員一致
 - 重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例 全員一致
 - 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴う関係条例の整備に関する条例 全員一致
 - 企業立地等を重点的に促進すべき区域における市税(固定資産税)の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 全員一致
 - 特別災害被害者に対する市税等減免の特別措置に関する条例の一部を改正する条例 全員一致
 - 総合福祉センター設置及び管理条例及び三次市福祉保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例 全員一致
 - 公の施設の指定管理期間の見直し等に伴う関係条例の整理等に関する条例 全員一致
 - 県営土地改良事業に係る分担金徴収条例の一部を改正する条例 全員一致

Pick up!

■指定管理者の指定について

指定管理施設の管理期間が令和3年3月31日をもって満了することに伴い、指定管理者の候補者を選定しました。

主な施設	指定管理者
三次市立図書館	株式会社暮らしサポートみよし
湯本豪一記念日本妖怪博物館	一般社団法人みよし観光まちづくり機構
三次市民ホール	株式会社ケイミックスパブリックビジネス など

■人権擁護委員の候補者の推薦について

佐々木 固代 (三良坂町)
(任期は令和3年4月1日から3年間の予定)

詳しい議案の内容についてはこちら→



- その他の議案
 - 指定管理者の指定について 全員一致
 - 財産の無償譲渡について 全員一致
 - 財産の無償譲渡及び無償貸付について 全員一致
 - 損害賠償の額を定めることについて 全員一致
 - 人権擁護委員の候補者の推薦 全員一致

12月定例会を12月4日(金)から12月18日(金)まで開催し、議案25件及び意見書6件を原案のとおり可決し、陳情1件を採択とし、陳情2件を不採択としました。

令和2年度 一般会計予算の補正(第8号)

補正額 11億2,821万2千円追加

総額 466億874万2千円

■主な使い道

・現年災害公共土木復旧事業	2億7,000万円
・道路法面改修事業	1億5,500万円
◆指定管理施設助成金	5,650万円
◆学校大型提示装置整備事業	2,286万円
◆交通事業者支援給付金	2,000万円
・学校給食調理場整備事業	1,600万円
◆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	1,161万8千円
・市議会議員選挙経費	▲1,165万円
・職員人件費(選挙経費を除く)	▲5,958万1千円

ほか

《継続費》

- ・学校給食調理場整備事業

《繰越明許費》

- ・市議会委員会放送設備整備事業 ほか36件

《債務負担行為》

- ・文書等配送委託業務 ほか追加4件
- ・甲奴健康づくりセンター運営委託業務 ほか変更2件

《地方債》

- ・学校給食施設整備事業 追加
- ・地域情報化推進事業 ほか変更12件
- ・浄化槽設置整備事業 ほか廃止1件

補正予算の概要はこちら→
12月補正予算をご覧ください。



(▲は減額)

陳情

神杉コミュニティセンターの早期改築について

全員一致で採択

塩町中学校区に学校給食共同調理場を残すことについて

賛成少数で不採択

川地中学校区に学校給食調理場を残すことについて

賛成少数で不採択

子どもの医療費助成制度の拡充を求める意見書(案)

賛成多数で可決

学術会議任命拒否について、政府に徹底した説明を求める意見書(案)

全員一致

コロナ禍の経験をふまえて介護保険制度の改善を求める意見書(案)

賛成多数で可決

条件不利地域に対する更なる支援を求める意見書(案)

全員一致

「黒い雨」の控訴取り下げについての意見書(案)

賛成多数で可決

尖閣諸島周辺の領海・排他的経済水域における安全確保に関する意見書(案)

全員一致

詳しい討論の内容は次ページ

令和2年度 一般会計予算の補正(第9号)

補正額 1,700万円追加

総額 466億2,574万2千円

■主な使い道

◆ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 1,700万円

(◆印は新型コロナウイルス感染症対応分)

12月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの)

区分	会派	ともえ				明日への風				真正会			会派 未来		清友会		公明党		日本共産党	市民の声						
		結果	小田	新家	弓掛	藤井	月橋	掛田	藤岡	徳岡	増田	山田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森			新田	穴戸	保美	山村	黒木	中原
議案第149号 令和2年度三次市一般会計補正予算(第8号)(案)	可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号 塩町中学校区に学校給食共同調理場を残すことについて	不採択	×	議長	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
陳情第3号 川地中学校区に学校給食調理場を残すことについて	不採択	×	議長	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
発議第11号 子どもの医療費助成制度の拡充を求める意見書(案)	可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
発議第13号 コロナ禍の経験をふまえて介護保険制度の改善を求める意見書(案)	可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
発議第15号 「黒い雨」の控訴取り下げについての意見書(案)	可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

○…賛成 ×…反対

陳情第2号「塩町中学校区に学校給食共同調理場を残すことについて」に対し、討論がありました

【反対討論】 小田議員

先日市長は、給食調理場を1箇所にする苦渋の決断をしたと言われた。採択すると、調理場を建設することになると思うが、財源を無視して考えるわけにはいかないのが現状だ。この思いは大変重たいものだが陳情を採択することに對しては反対する。

【賛成討論】 保実議員

調理場は地域の雇用の場や地元食材の納入先でもあり、地域の一体感を生み出す重要な拠点である。将来を担う子ども達への「保護者有志」の願意は理解できるものであり、採択すべきである。

陳情第3号「川地中学校区に学校給食調理場を残すことについて」に対し、討論がありました

【反対討論】 杉原議員

陳情書の実現可能性というのが現段階ではないと思う。郷土愛を育てるのは学校や社会教育の中で今以上にやってほしい。川地で行っている地産地消の取組を全市に広げ、更に素晴らしい地域になるアイデアを出すことが議会行政・地域がともに行っていくことだ。財源にも限りがあるので、バランスをもって持続可能な三次市を作っていくことが必要だ。

【賛成討論】 藤岡議員

川地地区で提供されている給食は生産者や保護者地域全体に支えられ、継続されてきた取組である。こうした地域に根を張った食育は都市部にはない魅力であり「この町に住んで良かった」と思えるの

ではないか。願意に対しては議会が重く受けとめる必要がある。

発議第11号子どもの医療費助成制度の拡充を求める意見書(案)に対し、討論がありました

【反対討論】 黒木議員

この助成制度は、県内各市町独自の移住・定住対策となっており、一律に実施してしまうと、特徴ある事業の実現が難しくなる。地方消費税の税率引き上げについては、乳幼児医療助成を含む社会保障経費の一部として充てられているが、市町によって対象年齢等制度が異なっていることは適切ではない。本来は、国が制度設計を行って全国一律のサービスとして提供すべきと考える。よって採択に反対とする。

発議第13号コロナ禍の経験をふまえて介護保険制度の改善を求める意見書(案)に対し討論がありました

【反対討論】 杉原議員

国の財源にも限りがある中で、介護従事者の給与を全額国庫負担で全産業平均給与水準まで引き上げるとするのは到底無理なことだ。また、介護保険財政への国庫負担割合を大幅引き上げし利用料・介護保険料は軽減せよということも、財源不足に繋がり他のサービスへの影響も計り知れないし、費用を国に負わせるのは行き過ぎた要望だ。

今の我が国の社会保障制度において世代間格差が大変問題になっており国の財源は、地方経済を回す商工費の増額など、若い世代が希望の持てる税の使い方をすべきと考え、反対討論とする。

発議第15号「黒い雨」の控訴取り下げについての意見書(案)に対し討論がありました

【反対討論】 黒木議員

控訴しないとなると、原告84名には被爆者健康手帳が交付されるが、原告に加わっていない該当者には手帳は交付されない。調査については県・市が選んだ学識経験者を加えるよう要請し認められた。訴訟に勝つことより、より多くの黒い雨体験者に被爆者健康手帳が交付されるよう一刻も早く「黒い雨降雨地域」の拡大を実現する必要があると考えるため。

教育民生常任委員長報告

三次市学校給食調理場の整備について、調査研究・議論した内容について報告がありました。

【委員長報告】 要旨

開始に教育委員会のこれまでの学校給食調理場整備の進め方について検証を行い、次の4点にまとめ、教育委員会に説明を求めた。

- 1 スケジュールに対する具体的なロードマップが明確に示されていない
 - 2 「まだ案である旨」の回答に終始し明確に回答されていない
 - 3 計画策定委員会が、整備計画の策定という設置目的に対する役割を果たしていない
 - 4 財政面に重点が置かれ教育的視点が示されていない決定の過程に非常に疑念がある
- アレルギー対応、地産地消、食育など学校教育のあるべき姿について教育委員会の見解を確認し、教育委員会が示す給食調理場について討議を行った。

更に田幸及び川地の要望内容を踏まえた議論が必要であることから、要望内容について話を伺い議論のまとめを行った。

それぞれの意見に対して討議も行ったが、これ以上意見をまとめることはできないとの結論に至った。

教育委員会として教育的視点を最も優先し、保護者や地域、食材の生産者、職員等への情報公開と説明に努め、協力体制を構築し、事業を執行することを求める。

委員会審査

定例会で、各常任委員会に審査付託となりました議案等について、12月10日～14日に各委員会を開催しました。その審査の経過と結果を次のとおり報告します。

教育民生常任委員会 12月10日開催

【付託議案】

議案第141号「三次市総合福祉センター設置及び管理条例及び三次市福祉保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」ほか8議案

陳情第2号「塩町中学校区に学校給食共同調理場を残すことについて」ほか1件

【審査結果】

議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決
陳情 いずれも賛成少数で不採択

産業建設常任委員会 12月11日開催

【付託議案等】

議案第143号「三次市県営土地改良事業に係る分担金徴収条例の一部改正する条例(案)」ほか1議案

【審査結果】

議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

総務常任委員会 12月14日開催


【付託議案】

議案第135号「三次市行政組織条例の一部を改正する条例(案)」ほか2議案

陳情第1号「神杉コミュニティセンターの早期改築について」

【審査結果】

議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決
陳情 全員一致をもって採択



教育民生常任委員長報告(12月4日)の全文及び各委員会の議案に対する、指摘及び意見はこちらから

1 委員会中継実施中
令和2年9月定例会から、1日1常任委員会を開催し、常任委員会のケーブルテレビ中継を始めました。ぜひご覧ください。
※インターネット配信及び再放送は行っていません。

予算審議

補正予算

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案9件について、12月16日及び17日に委員会を開催しました。その審査と結果を次のとおり報告します。

付託議案

議案第149号 令和2年度三次市一般会計補正予算(第8号)(案)ほか8議案

議案第149号 令和2年度三次市一般会計補正予算(第8号)(案)に対する修正案が提出されました。

提案理由

- ・学校給食調理場整備事業の継続費として提案の25億4400万円は、建設場所の確定や建設費の内訳などが明確でなく一括提案の根拠もない。
- ・「予算の議決は毎年会計年度で行うべし」という原則があり、市議会での予算審議権確保の観点でも提案すべきではなく毎年審議できる債務負担行為にすべきである。
- ・川地中学校区、塩町中学校区の建設要望を踏まえた3箇所整備するために、4000食対応の学校給食調理場整備経費の調査測量設計監理委託料1600万円を3000食対応、1200万円に減額1箇所整備を先行しながらあと2箇所建設を目指していく。
- ・川地中・塩町中学校区からの建設要望も踏まえ3箇所の整備とすべき。

議案第149号修正案に対して賛成討論と反対討論がありました。

反対討論

横光議員

提案されている継続費は4年間継続する予算であり、毎年度に事業の報告が行われ、事業費全体がわかる予算案である。債務負担行為も予算化可能だが、年度年度の報告は行われず、積み上げなければならぬ点がある。継続費は継続費繰越計算書を調整し議会に報告しなければならぬとしており、事業の全体像や予算の繰越状況も把握できる。修正案の計画で500食とされているが、川地調理場では大きすぎて税金の無駄遣いになる。また、保護者も1日も早い給食の開始を望んでいることは、ブリックコメントから容易に読み取れる。以上より修正案に反対する。

小田議員

自校給食がベストだとは思いますが、今は望めるものではないと思う。給食調理場を3箇所にする事によつて、義務的経費は当然増える。経費・固定費ははずとかかる。経常収支比率が上がつて100を越えたら自由度がなくなつてしまう。生産者の思いを1箇所案の中にどうやって取り組んでいくかだ。経済的な理由だけでするべきではないという声もあるが、財源を無視するべきではないという観点から修正案には反対する。

賛成討論

新田議員

最も望ましい学校給食は自校方式である。最も悪い条件が1箇所に集約であり、子どもたちにとつてより良い教育条件整備のために3箇所にする事を考えた。修正案にいう3000食規模に縮小し予算案を立てることは、中学校の給食開始を遅らせるものではない。川地・塩町地区の小学校の給食は時間差は生じるが、地元給食存続の要望に二面応えるこ

ともなる。4000食規模の調理場建設は、これからの児童生徒数の推移をみると大きすぎて税金の無駄使いにならないか。財政の課題についても国庫支出金や過疎債の適応をはかることで市の負担も軽減できることの説明が不十分と考える。三次の未来を担う子どもたちへ先行投資すべきである。

藤岡議員

地元の子どもたちを、地元の食材をたっぷり使った給食で地域ぐるみで育てる。これは学校の機能の一部だ。地域の自然と人に育まれた食育、給食が素晴らしい、地域で大切にされているか、これは一朝一夕で構築できる取組ではない。給食調理場は引き続きその地域で育まれるべきと考えるため、賛成とする。

徳岡議員

人口減少の最中、U・Iターンを増やす取組をしなければならぬ。都市部にはない魅力を高め、より地域に愛着を持つ子どもたちを育てることが必要であり、地域の良さである田舎ならではのコミュニティや取組に接することが大切だ。川地や田幸の学校給食は地域に根を張った食育の取組は都市部にはない魅力だ。行政の役割は、その地域に寄り添い、計画の遂行に向け協力していくことではないか。地域要望をふまえ、3つの地域に給食調理場を整備することでまちづくりを加速させていくことが必要であると考えるため修正案に賛成とする。



修正案採決の様子

修正案は賛成少数で否決

○…賛成 ×…反対

審査結果

議案第149号の修正案を除いて、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

議案に対する、指摘及び意見はこちらから→



予算決算常任委員会 審議結果 (全員一致以外のもの)

区分	結果	ともえ		明日への風			真正会			会派 未来		清友会	公明党	早稲薺	市民の声									
		小田	弓掛	藤井	月橋	掛田	藤岡	徳岡	増田	山田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	宍戸	保美	山村	黒木	中原	伊藤	重信
議案第149号 令和2年度三次市一般会計補正予算 (第8号)(案)修正案	否決	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	委員長	○	○	×	×	○	○	○

市政を問う



12月定例会では、13人が市政をただしました。
 質問と答弁の一部を紹介しつす。詳細については、会議録を製本の後、議会事務局、各支所、三次市立図書館及び分館に常設しつす。
 また、三次市議会のホームページ(アドレスは下記のとおり)では、**一般質問の日程や質問内容の一覧も公開してつす**。議会終了後には会議録と本会議の録画映像もご覧いただけます。
 なお、一問一答方式で一般質問を行つてつすがつ、紙面の都合上まとめて記載してつす。

HPアドレス <http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp> → 市議会情報

- 市議会一般質問
- 市議会議事録
- 三次市議会インターネット配信

集会所の譲渡、公共施設の解体など、令和元年度末までに109施設を削減した。こうした取組を続けているが、今年度即効性があるものではないので、現時点においてすぐに歳入が確保できるということではない。今後もしつ続き事務事業の見直し等を行つていく。

《細美総務部長》

「選択と集中」により事務事業の見直しに取り組んでるほか、公債費の積極的な繰上償還や、集会所の譲渡などの公共施設の整理による後年度の負担軽減などに取り組んでる。

《福岡市長》

答弁1
後年度の負担軽減などに取り組んでいく

質問1
今後の公共施設の有り様を問う

財政推計をみると、令和3年度以降毎年3億円の基金の取崩しの計画である。公共施設の建設の有り様など検討すべきと考えるが所見を伺う。



② 今後の利活用を含めて最適な場所を検討し、選定したい。
 ③ 令和3年1月には、(仮称)学校給食食材安定供給協議会準備会を立ち上げ、協議会設立に向けての準備を進める。
 ④ (仮称)三次市新学校給食調理場整備計画(案)により対応していきたい。

① 川地地区の取組をはじめ、既存の生産者グループの取組を継続していきたいと考えている。食育については、「顔が見える」オンライン授業など、食教育ができる体制を整え継続的に推進する。また、アレルギー食対応は、教職員、養護教諭、栄養職員、調理員、保護者等で十分な連携のもとに実施する。

《甲斐教育次長》

答弁2
(仮称)三次市新学校給食調理場整備計画(案)に基づき対応する

④ 来年4月から川地中学校へ、三和学校給食共同調理場から配食すればと考えるが所見を伺う。

質問2
学校給食調理場計画は具体策を示すべきでは

① 署名簿を提出された地域要望で反映出来る点は何か伺う。
 ② 学校給食調理場整備予定地の種鶏場跡地はどの区画に設置するのか伺う。
 ③ 地産地消で、「(仮称)学校給食食材安定供給協議会」を設置する計画だが、どの程度進んでいるのか伺う。
 ④ 来年4月から川地中学校へ、三和学校給食共同調理場から配食すればと考えるが所見を伺う。



質問1 学校統廃合による学校資料の保存は

三次市学校規模適正化検討委員会が設置され、その中で学校規模の判断がされる。今後、学校が統廃合される時廃止になる学校資料の保存に関わる担当は誰なのか。また、学校に保存された歴史的価値のある資料が整理保存され、どこに保管されるのか伺う。

答弁1 地域と一緒に協議しながら進めたい

《松村教育長》

文書や資料は、原則、統合先の学校へ引き継がれる。公文書は、三次市立小・中学校文書取扱規程に則って保存及び廃棄が行われる。永久保存する資料等は、その学校の存在を後世に伝える大変貴重な資料であると考え。地域の方がこのような資料をどのように保存し、活用されているのか伺いながら、今後の保管について一緒に協議し、進めたい。

質問2 ふるさと納税の活用は

平成20年から始まったふるさと納税が、平成25年からネットで返礼品が選べるようになり、急速に納税額が増えてきた。本市もそのお陰で1億円を越す納税があったが、現在ホームページでは平成30年度末で3億4888万9891円あるが、その活用が少ない。活用とホームページの更新を求める。また、このことがふるさと納税者を増やすことにつながるかと考えるがいかがか。

答弁2 応援していただく気持ちをさらに高める内容を検討したい

《中原地域振興部長》

ホームページはご指摘後、すぐに更新した。また、活用実績の記載内容について、市がふるさと納税の活用をもっとアピールし、三次を応援していただく気持ちをさらに高められる内容を検討していきたい。



ふるさと納税返礼品の一部



質問1 まち・ひと・しごと創生総合戦略をすすめるためには

三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略は人口減少・少子高齢化に歯止めをかけ、持続可能な社会を築くことを目的としている。そのためには周辺地域からの市内中心部への人口集中の是正・コロナ禍に社会は大きな転換期を迎えた意識が必要と考える。学校給食調理場の集約化や学校規模適正化の論議が学校統廃合へ向かうことは、地域づくりに大きな影響を及ぼす。定住対策や農業、にぎわいづくりや文化伝統の継承等、地域の活性化に水をさす事になってはならない。総合戦略に沿うよう諸施策を進めるべきと考える。市の見解を問う。

答弁1 安心して住み続けられる持続可能な田園都市作りを進める

《宮脇経営企画部長》

各地域が、活力ある持続可能なまちとなるためには、人口の構成バランスが保たれることが必要である



中国山地に広がる棚田(上田町末国)



総合戦略に沿う諸施策

と考える。今回の戦略の方向性においては、「田園都市×デジタル」を掲げ、各地域の豊かな自然や地域資源を活かしていく取組を進めるとともに、ICTも活用しながら、市民の生活を便利で豊かなものにしていくことで、安心して住み続けられる持続可能な田園都市づくりを進めていく。



質問1 学校給食調理場再編計画の具体化は

議員9名から提出した、提言を読んで、市長はどう認識したのか。また旧市内6箇所の給食調理場を1箇所にするのは乱暴ではないか。子どもたちに「おいしく」「安心」「安全」な給食が必要ではないか。川地・塩町校区からの要望に応える気はないか。

答弁1 発展的な学校給食調理場に結びつけたい

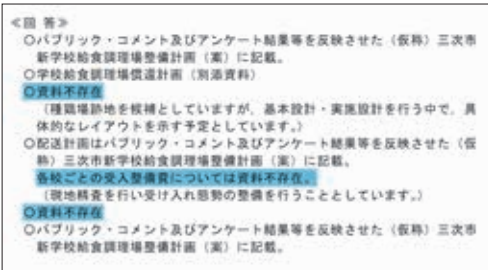
提言書は、政策提言として受け止める。新しい学校給食調理場で反映できることは反映したいと考えている。特に安全・安心な給食の提供や、地産地消の推進による地域とのつながりの創造、食育の推進など、積極的に田幸や川地の方々の思いを酌み取った学校給食調理場にするによって、発展的な学校給食調理場に結びつけたい。

質問2 給食調理場の建設費の内訳は

建設費25億4400万円の継続費の提案があったが、議会の審議確保の観点から言うとな債務負担行為に変更すべきであるし、建設費内訳では、建設場所が決定していないのになぜ一括の建設費が提案できるのか。また「資料不存在」状態では費用が積算できないのではないかと。

答弁2 工事実績を基に算出して積み上げている

概算工事費の積算は、それぞれの項目において類似施設を参考にするなど、標準的な建築単価や最近の工事実績を基に算出をして積み上げたものを根拠としている。資料請求のレイアウトは決まっておらず、資料を持ち合わせていないという点で不存在とした。



費用の積算はいかに



質問1 まちづくりの視点に立った害獣対策は

市長は様々な場面で、安全安心の「まちづくり」と言われるが、家の周辺にクマ、イノシシ、シカの出没が頻発し、地域の実情はそれとは程遠い。農業の視点だけではなく、市民全体の問題として取り組むべきで、組織横断的な部署を作り、対策を考へるべきでは。

答弁1 持続可能な田園都市づくりを進める

日々変化していく社会情勢の中で、本市の豊かな自然や地域資源、積み重ねてきた協働のまちづくりをベースに、市民が安心して住み続けられる持続可能な田園都市づくりを進めたい。有害鳥獣対策は、環境改善、侵入防止、捕獲を基本対策として、これらを総合的に進めるとともに、今年度はICTを活用した先進技術を実証する中で、駆除班、関係機関と連携した地域ぐるみの取組を進めている。

質問2 農業用ため池管理保全法施行後の現状は

今年12月末期限の届出の状況、防災重点ため池の数、それに対する工事等の状況は。最終的に所有者が分らないものや、管理されていないため池の管理手法等について伺う。

答弁2 ため池特措法により防災工事等を推進していく

10月末現在で1499箇所の届出があり、残り311箇所のため池については、ため池の機能を失っている、廃止・埋立により消滅している等の報告を受けているものが168箇所で、未届が143箇所である。

防災重点ため池は、10月末現在643箇所、対策が必要なため池については県営事業で改修工事等を行っている。今後は、県が残りの防災重点ため池について診断を行い、ため池特措法により「防災重点農業用ため池」を指定し、防災工事等を推進していく。



誤捕獲防止にも効果が期待されるICT技術



質問 1
人口減少対策の
成果・課題は

人口減少対策としてこれまでの主な取組とその成果、課題は何か。大規模、集中型から小規模、分散、複合化、近隣循環への社会経済システムの特換が始まっている。中国山地の転換を生かした本市の魅力発信する機会と捉え、人口減少対策の理念、新たな取組を行う考えはあるか。

答弁 1
理念を持って長く継続的に
地道に続けていくことが
結びつく

《宮脇経営企画部長》
情報発信や社会情勢により、移住相談件数は増加傾向にある。課題は、転出者超過の状況が縮小する兆しが見えるものの、依然として転出者が多く、また様々な分野での担い手が不足していること等である。

《中原地域振興部長》
新たな施策として、令和3年度から「みよし暮らし推進事業」を実施計画に計上している。新たな事業を

含めた総合的な支援を行っていくよう考えている。

《福岡市長》

政策的に理念を持って、長く継続的に地道に続けていくということが定住人口に結びつくと考えている。共通認識を持つ中で、魅力ある二次市を創造していきたい。

質問 2
公募型指定管理者の候補者
選定方法は

新たな候補者が選定された主要施設があるが、これまでの実績等の評価に問題があったのか、選定方法はどうかだったのか。地元が団体がかかわりを持った事業等はどうなるのか。

答弁 2
最高得点の団体を候補者に
選定した

《細美総務部長》

4つの評価基準に、それぞれ得点を設定し、7人の選考委員が各々得点付けしたものを合計して、最高点の団体を候補者に選定した。従来の指定管理者の実績等については、4つ評価項目のうち、「管理運営の基本方針と実績」で評価をしたが、わずかに選定候補者が優れており、他の候補者が決して実績が低く評価されているものではない。



質問 1
障がい者(家族)の新型コロナ
ウイルス感染症対策は

親が新型コロナウイルスに感染したら、同居する障がいのある子どもの生活はどうなるのか。また、障がいのある子どもが感染した場合に、三次市においてはどのような支援体制を考えておられるのか。

答弁 1
県民全体で感染予防対策に
取り組むことが最も重要

《牧原福祉保健部長》

個々の状況を見ながら適切に対応するように関係機関と調整を図りたい。病床等については、市独自で整備をすることは困難と考えている。広島県、また医療関係者と調整を図りながら対応していきたい。

質問 2
英語教育の取組を
どう考えるのか

三次市では、国の違いによる文化習慣、考え方の違いを理解し、コミュニケーション能力に優れ、国際的に

活躍できる人材を育成するため、日本一の英語教育に取り組みたいですが、幼児期からの英語教育の取組はできないか。

答弁 2
社会性を育むことを第一に
考えている

《松長子育て支援部長》

保育所での生活や遊び、子ども同士の関わりや絵本に触れること等を通じて、文字や数に親しみ、社会性を育むことを第一に考えていることから、当面、保育所への英語教育の導入は考えていない。歌やゲームなどの活動を楽しみながら、英語に親しむことができる機会を検討していく。

新型コロナウイルスの影響で困った! 悩んでいる...
そんなときは次の窓口にご相談ください。

<p>新型コロナウイルス感染症の予防</p> <p>新型コロナウイルス感染症について 広島県新型コロナウイルス感染症相談窓口センター ☎(082)513-2567 24時間対応</p> <p>感染症の予防や健康について 保健健康課 ☎(0824)62-6232</p> <p>風邪のような症状で医療機関(かかりつけ医など)を受診する場合は、必ず事前に電話で相談してください。</p>	<p>子育て・学校教育</p> <p>保育所や保育施設の利用について 子育て支援課 ☎(0824)62-6147</p> <p>児童虐待・DVについて 子育て支援課 ☎(0824)64-6011</p> <p>各学校の対応について 市教委学校教育課 ☎(0824)62-6187</p> <p>放課後児童クラブ等について 市教委文化と学びの課 ☎(0824)62-6182</p>
<p>生活の支援 (個人の方向け)</p> <p>生活に困っている方の相談窓口 生活福祉資金貸付制度、住居確保給付金についての相談 市社会福祉課 ☎(0824)62-6146</p> <p>市税の徴収猶予・減免等について 市税課 ☎(0824)62-6177</p>	<p>事業の支援 (中小企業・個人事業主の方向け)</p> <p>中小企業向け融資制度について 【対象】 経営の安定に支障が生じている中小企業者</p>

三次市の支援体制は



質問1 新型コロナウイルス感染症 対策各種減免制度の周知は

市独自に取り組んできた、市民税などの各種減免制度による支援の申請期限が3月末まで延長されたが、延長したことを市民に知らせ理解してもらったためにどのような取組をしているか。また、1月からの支払いを免除することはできないか。

答弁1 広報紙やケーブルテレビを 利用して周知していく

《上谷市民部長》

3月31日までの延長について、広報紙やケーブルテレビのデータ放送等で周知する予定である。
減免を適用する期別は、申請日以降に係る納期である。例えば、国民健康保険税であれば、3月までであるが、12月25日が12月分の納期である。12月25日までに申請があれば、6期、7期、8期、9期と残った未来の期別について全て減免の対象となる。

質問2 水道事業広域連携は慎重に 対応すべきではないか

自治体の責任で守ってきた水道事業を、広域連携で統一しようとしているが、市職員や専門職がいなくなれば災害時の対応が遅れるし、細かい対応ができなくなるのではないかと、市民や専門家の意見を聞き慎重に対応すべきではないか。

答弁2 持続可能な水道システムの 構築をめざす

《明賀水道局長》

企業団になっても職員の対応は今までと変わりなくできると考えている。
水道は市民の日常生活等に不可欠なライフラインとして、安全・安心な水を適切な料金で安定供給するために、水道事業者である地方公共団体はその責務をしっかりと果たしていくことが重要である。そのため、広島県が6月に策定した「広島県水道広域連携推進方針」では、企業団を設立して、持続可能な水道システムの構築を目指すこととしている。



向江田浄水場



質問1 市財政（特に財政調整基金） の現状と今後は

平成16年に1市4町3村が合併した時に持ち寄った財政調整基金17億円が、どのように推移しているのか。コロナ対策等で取り崩したが今後どうなるのか。また、財政問題で経常収支比率が近年悪化しているが、どのように考えているのか。

答弁1 持続可能な財政運営に 取り組んでいく

《細美総務部長》

財政調整基金は平成26年度では約46億円を見込んでいたが、災害対応、新型コロナウイルス感染症対応分を取り崩し、令和元年度末で約30億円となっている。想定外の取崩しがなければ、財政計画に対して想定範囲内で推移していた。
当面は基金繰入に頼らざるを得ないが、引き続き自主財源の確保や国県費等の特定財源の活用を努めるとともに、行財政改革の推進、事務事業の見直しや経費の削減、持続可能な財政運営に取り組んでいく。

質問2 （一社）みよし観光まちづくり 機構と（株）暮らしサポート みよしの役割は

三次市が100%出資している2団体の役割と今後どのような組織体制を作っていくのか。特にDMOは現在人員もまったく足りていないと思える。これからの観光事業を地域経済活性化に繋げていく為にも民間の人材の登用・採用が必要なのは。

答弁2 役割分担を考えて三次の 観光振興に取り組んでいく

《福岡市長》

（一社）みよし観光まちづくり機構は、関係者との合意形成、データ収集と分析、戦略の策定といった重要な役割を担うべき団体であり、本市の観光推進体制の核となる必要がある。（株）暮らしサポートみよしは、安全で確実な公共的サービスを効率的に提供していく必要がある。
（一社）みよし観光まちづくり機構は、人員体制に課題があるところも含めて、体制を整備した上で今後の観光振興に結び付けたい。

《中廣産業振興部長》

市、観光協会、（一社）みよし観光まちづくり機構、それぞれの特性特徴、役割分担を考え一体となって三次の観光振興に取り組んでいく方向性、体制のあるべき姿を三次市観光戦略で明らかにしていきたい。



質問 1
若年向けの SNS 発信を

マイクロツーリズムが見直されている中、今秋は市内様々なイベントが開催され賑わっていたが、若年層の「知らなかった。行っていない」という意見が多い。発信方法を検討するべきではないか。

答弁 1
若年層にも届く発信方法についても研究を進めたい

《中廣産業振興部長》

市民の観光需要を取り込むことも観光産業の拡大のために必要と考えている。また、旅行形態も団体から小グループ、個人での旅行やマイクロツーリズム等に需要が変化する中、市内・市外への効果的な周知方法を検討するとともに、若年層にも届く SNS の発信方法についても研究を進めたい。

質問 2
スポーツを核にした地域づくりを

本市には人工芝化された球場があり、加えて積極的に女性活躍に取り組んでいる。硬式野球女子大会を誘致すればスポーツツーリズムとしての経済効果、機運が高まれば女子野球チームが発足し、全国の子女子野球部員のあこがれの地になると考える。

答弁 2
全国規模の大会開催を誘致していきたい

《福岡市長》

女子野球の取組は市の方針と合致しており、県内外へ発信していく絶好の機会だと捉えている。引き続き、広島県と連携を図りながら、合宿誘致、野球を通じた交流の中で女子野球文化を根づかせながら全国規模の大会の開催を誘致していきたい。



三次市を女子野球部員のあこがれの地に



質問 1
三次市の観光推進体制についての考えは

本市には、三次市観光協会や各旧町村の観光協会と三次版 DMO の観光に関わる組織がそれぞれに存在している。この状況について、どう思うのか。また、三次版 DMO を核に新体制を構築するのが妥当だと考える。観光体制についての考えを伺う。

答弁 1
三次市観光戦略で整理をしていく

《中廣産業振興部長》

各々の取組は重複しているところがあり、整理が必要であると認識している。今後の観光推進の在り方や体制等については、現在策定中の三次市観光戦略で整理をしていきたいと考えている。

質問 2
今後の図書館の整備についての考えは

タブレット端末やスマートフォンなどで閲覧できる電子書籍を貸し出し「電子図書館」を運営する自治体が増えている。また、紫外線で本を除菌する消毒装置を設置している自治体もある。「コロナ禍の図書館の整備について市の考えを伺う。」

答弁 2
感染防止対策を徹底して行っていきたい

《松村教育長》

導入については、電子図書館のメリット、デメリットを総合的に勘案し、検討していきたい。
図書館を安心して快適に利用していただくためにも、引き続き、施設内の換気や消毒を実施し、来館者へもマスクの着用や手指の消毒を促すなど、感染防止対策を徹底して行っていきたい。



図書館の感染症対策



質問 1
地域課題から見る(仮称)三次市新学校給食調理場整備計画(案)とは

塩町中学校区と川地地区から現調理場を残してほしいと要望があった。長年培ってきた食育や地産地消の取組は、U・タータンを推進する上でも三次市の宝だと考えるが、しっかりと情報を開示し、地域とさらに協議する必要があるのでは。

答弁 1
思いを継続できるような新しい学校給食調理場について

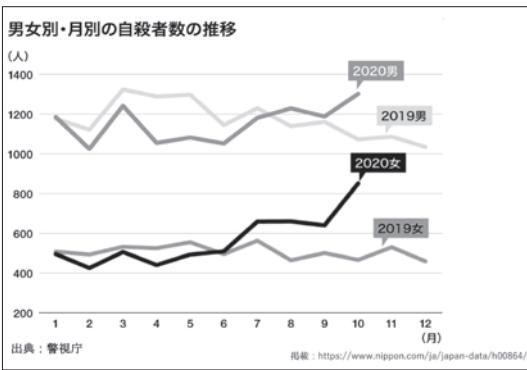
《福岡市長》
川地や田幸の地域にとって学校給食調理場は宝だということ、これまでの取組は地域に残さないとけない、という思いは酌み取らせていただいた。その思いを継続できるように新しい学校給食調理場にしていきたい。
未来の三次市を持続可能な地域にしていくために、我々も断腸の思いで予算提案した。

質問 2
コロナ禍での命を守る取組を

コロナ禍が長期化する中で、子どもと女性の自殺率が急激に増加している。貧困率の高いひとり親家庭の早急な支援と、特に自殺率の高い中高生へ地域やNPOなどと協働した居場所作りが必要と考えるがいかがか。

答弁 2
聞き取りをしながら研究したい

《松村教育長》
第3の居場所と呼ばれるものについて、今後しっかりと状況を把握したいと考え、県内の他市事例を聞いているところだ。今後どういう活用をされるか、また、ごついう取組をされるのかを、該当の市からさらに聞き取りをしながら研究したい。



自殺者数の推移 出典：警視庁



質問 1
学校外施設での学習支援の有効性は

三次市では、これまでの適応指導教室の取組や新たにガイドライン制定によって、学校長の判断により出席扱いとすることができるようになったフリースクールなど学校外施設での学習機会の確保の効果をどのように考えられているか。

答弁 1
有効だと考えている

《松村教育長》
学校に戻って勉強できるようになった児童生徒や、高等学校へ進学できた中学校3年生もいる。適応指導教室において学びを続けることは、大変有効だと考えている。
また、登校しづらい児童生徒やその保護者が民間施設の利用を希望された場合、民間施設で学んだ日数を「出席扱い」とすることは、社会的自立に向けて有効であると考えている。

質問 2
交差点内における防護柵設置の必要性は

交通事故が発生しやすい交差点内の自転車同士の事故から、赤信号待ちなどの子どもたちを守らなければならない。通学路で交通量の多い交差点内全てにガードレールなどの防護柵を設置すべきと考えるがどうか。

答弁 2
防護柵の設置も必要ないところはある

《甲斐教育次長》
各道路管理者と三次警察署との調整及び判断によって、必要に応じて交通安全対策が講じられている。市として危険箇所については、各関係機関及びPTAと連携して「三次市交通安全プログラム」で対応しているところであり、この取組の中で、防護柵の設置も含めて子どもたちの安全確保に努めていく。



子どもたちの安全を守らなければならない



あっちこっち三次

市議会トピックスのコーナーに出演中

三次市議会では、三次ケーブルビジョンで放送している「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに毎月1回出演しています。毎回、各常任委員会等から2人出演し、常任委員会の取組等を中心に、議会活動を市民のみなさんにお知らせします。

スタジオから生放送で議会情報をお届けしますので、ぜひご覧ください。



チャンネル：111ch

番組名：あっちこっち三次

(市議会トピックスのコーナー)

放送時間：17時30分～(生放送)、再放送あり

放送日：毎月第4火曜日または水曜日

(放送日は予定です。)

※放送日、出演予定等は変更になる場合があります。

※番組内容や放送に関することは三次ケーブルビジョンへお問い合わせください。



くわしくは
コチラ

株式会社三次ケーブルビジョン

TEL:0824-65-2211 FAX:0824-65-0066

■議会の傍聴について

議会の本会議は、どなたでも傍聴することができますが、**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席数を減らす等、傍聴を制限する場合がございますのでご了承ください。**

ケーブルテレビでは議会の生放送と当日の夜7時から再放送をしますのでそちらもご利用ください。

また、市議会のホームページにおいて本会議の様様をインターネット配信しますので、ご利用ください。

■無料アプリ「マチイロ」版の議会だよりについて

無料アプリ「マチイロ」を利用して、みよし市議会だよりをご覧ください。



詳しくは市議会ホームページの「みよし市議会だより」のページをご覧ください。



お問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110

Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp



議会中継・録画配信実施中

市議会のホームページにおいて本会議の様様をインターネット配信しています。平成25年第1回臨時会以降の映像を見ることができます。本会議当日は生中継も行っています。ぜひご覧ください。

三次市議会のホームページからアクセス。または

三次市議会 インターネット配信 で 検索



インターネット
配信ページ

12月定例会録画配信

議会のうごき

2020(令和2)年～2021(令和3)年
11月1日～1月31日

11月

- 2日 三次高校訪問(三高ゼミ参観)
- 4日 議会運営委員会
- 9日 三次高校意見交換会
- 11日 教育民生常任委員会
- 16日 日影館高校意見交換会
- 24日 議会運営委員会、全員協議会
- 25日 市議会トピックス(教育民生常任委員会)
- 26日 議会運営委員会
- 30日 令和2年第3回臨時会

12月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 12月定例会本会議、総務常任委員会、広報広聴常任委員会
- 7～9日 12月定例会本会議(一般質問)
- 10日 教育民生常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 14日 議会運営委員会、総務常任委員会
- 16・17日 予算決算常任委員会
- 18日 12月定例会本会議、議会運営委員会
- 23日 市議会トピックス(産業建設常任委員会)

1月

- 14日 議会運営委員会、会派代表者会議
- 20日 令和3年第1回臨時会、全員協議会、会派代表者会議
- 21日 広報広聴常任委員会、三次青陵高校意見交換会
- 26日 議会運営委員会、広報広聴常任委員会
- 27日 市議会トピックス(正副議長出演)



議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会日程等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を実施しました。

1 令和2年12月定例会の総括について

- (1) 学校給食共同調理場について

2 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る議員の移動に係る申合せについて

次期定例会の 開会予定日は 2月26日(金)

■ 請願・陳情の提出は、2月15日(月)正午まで
市政についての意見や要望を直接市議会に提出する制度で、議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と言い、どなたでも提出することができます。

第2回 傍聴者に聞いた! 「傍聴ってこうだったのか!!」

12月定例会を傍聴に来られた方に広報委員がインタビューしました。なぜ傍聴したの? どうだった?? これを参考にみなさんも議会を傍聴してみませんか?

傍聴のきっかけは何ですか?

月橋委員

よく知った議員さんがいるので、いつも傍聴しているんです。

佐々木さん

傍聴の感想を教えてください!

月橋委員

一般質問を傍聴したのですが、6月定例会に比べてみなさん勉強しているなと感じました。

佐々木さん

いつも傍聴ありがとうございます。引き続き勉強して、3月定例会に臨みたいと思います! また傍聴に来てくださいね。

月橋委員

傍聴のきっかけは何ですか?

月橋委員

市役所に用事があって来たら、議会をしていたので、気になるテーマもあったし聞きに来ました。

山崎さん

傍聴の感想を教えてください!

月橋委員

以前、全員協議会は傍聴したことがあったのですが、本会議はまた違ってすごいな、と思いました。今まで興味なかったのですが、こうやって色々決めていくんだなと思いました。

山崎さん

ありがとうございました。ケーブルテレビ等でも事前に日程をお知らせしていますので、また傍聴してください!

月橋委員



インタビューと議会だよりへの掲載を快諾していただいたみなさま、ありがとうございました。また、今回はスペースの関係で、インタビューを受けてくれた方全員を掲載することができず申し訳ありません。三次市議会では、傍聴者の間隔を空けるなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。

あ | と | が | き

昨年の4月、市議会議員選挙の最中に三次市でも新型コロナウイルス感染症が発生し、学校や介護事業所の休業に始まり各種イベントの中止、飲食店への自粛要請、製造業や物流業界へも時間短縮などの影響が出ました。市議会においても、各地域で毎年開催しておりました「議会報告会」を行わないという判断に至りました。市民の皆様のご意見を頂戴しながら議会への関心を深めていただく極めて大事な取組ですので、今年の再開を切望しております。

「市議会だより」も写真を増やすなど鋭意改革中です。

2021年、頑張ろう三次!
(藤井 憲一郎)



写真提供: (株) 菁文社

**みやこ
紀行**

島敷町

白山大権現は岩屋寺を中心とする比叡尾山城の守護神、剣大明神は悪鬼降伏・心願成就の神で、二本を祀っている。戦時中は戦勝祈願で多くの参拝者があった。

社殿は1995年(平成7年)地元の町おこしグループ・王和会の人たちによって再建された。

やつぎ歴史ガイドから抜粋
(山田 真一郎)

白山大権現
はくさんだいごんげん
つるきだいみやじん
剣大明神